

# World Para Swimming 公認 2018 ジャパンパラ水泳競技大会 開催要項

**1 目的** 国際競技規則を適用したレベルの高い競技会を、競技団体と共に開催することによって、障がい者スポーツの認知度を上げ、並びに障がい者の広い社会参加を促進することによって、日本における水泳の競技力を向上させ、あわせて同競技の普及拡大を図り、活力ある共生社会の創造に繋げていくことを目的とする。

**2 大会名** 2018 ジャパンパラ水泳競技大会

**3 主催** 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

**4 共催** 一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟（以下「JPSF」という。）  
一般社団法人日本知的障害者水泳連盟（以下「JSFP」という。）  
一般社団法人日本ろう者水泳協会（以下「JDSA」という。）

**5 主管** 一般社団法人神奈川県水泳連盟

**6 後援** スポーツ庁 神奈川県 横浜市 横浜市教育委員会 公益財団法人日本スポーツ協会

**予 定** 公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本水泳連盟 日本障がい者水泳協会  
一般社団法人日本マスターズ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟 全国聾学校体育連盟  
公益財団法人神奈川県身体障害者連合会 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団

## 7 JPSSA オフィシャルパートナー

日本航空株式会社 全国共済農業協同組合連合会 TANAKA ホールディングス株式会社 東京ガス株式会社  
中外製薬株式会社 三菱商事株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 三菱電機株式会社  
サントリーホールディングス株式会社 大同生命保険株式会社 凸版印刷株式会社 株式会社モリサワ  
トヨタ自動車株式会社 株式会社ゴールドウイン 東日本旅客鉄道株式会社 東京建物株式会社  
株式会社大京 清水建設株式会社 味の素株式会社 野村ホールディングス株式会社  
株式会社大和証券グループ本社 東京ガス協力企業会 全日本空輸株式会社 東京海上日動火災保険株式会社  
野村不動産ホールディングス株式会社 株式会社みずほフィナンシャルグループ 三菱ケミカル株式会社  
株式会社日清製粉グループ本社イオン株式会社 パナソニック株式会社

## 8 JPSSA オフィシャルサポーター

トラスコ中山株式会社 西濃シエンカー株式会社 カリフォルニア・レーズン協会 日野薬品株式会社  
株式会社富士住建 株式会社グロリアアツアーズ 株式会社JTB コーポレートセールス 大塚製薬株式会社  
株式会社福祉施設共済会 株式会社ティーガイア 株式会社コメ兵 住友金属鉱山株式会社

**9 協力** 神奈川県障がい者スポーツ指導者協議会

**10 機材協力** 株式会社城山

**11 期間** 2018年9月22日(土)～24日(月・振休) (21日(金) クラス分け・練習)

**12 会場** 横浜国際プール (横浜市都筑区北山田 7-3-1 TEL:045-592-0453)

**13 実施種目** 別紙「実施種目及び標準記録一覧表」による。

## 14 参加資格・制限

JPSF 登録者については、次の(1)～(3)の条件を満たす者、または(4)、(5)に該当する者。JSFP 登録者については、(1)及び(6)の条件を満たす者、または(5)に該当する者。JDSA 登録者については(1)及び(7)の条件を満たす者、または(5)に

該当する者。聴覚障がい者で JPSF と JDSA のどちらにも登録している者は、必ずどちらかの団体を選択すること。

- (1) 身体障害者手帳または療育手帳を所持している者で、2018 年度 JPSF または、JSFP または、JDSA に選手登録をしている者
  - (2) JPSF 登録者については、次の競技会のいずれかにおいて、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している者。
    - ・2017 年度 第 34 回日本身体障がい者水泳選手権大会 2018 パラ水泳春季記録会  
2017 年 9 月 4 日以降に開催された WPS 公認大会
    - ・2018 年度 第 32 回関東身体障がい者水泳選手権大会 第 29 回近畿身体障害者水泳選手権大会  
第 28 回東北身体障害者選手権水泳競技大会 第 24 回中国四国身体障害者水泳選手権大会  
第 29 回九州障がい者水泳選手権大会 第 25 回中部障がい者水泳選手権大会  
WPS 公認大会
  - (3) JPSF 登録者のうち、聴覚障がい者を除いては、WPS の規則に基づくクラス分けが済まされていること。(国際大会に出場した選手、FCS クラス分けを受けた選手以外はクラス分けが済まされていないものとして扱う。)
  - (4) JPSF 登録者について、大会当日 19 歳以下の選手で別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達していない者については、50m自由形(予選)のみオープン種目として参加できる。ただし、その出場資格は第 34 回日本身体障がい者水泳選手権大会の標準記録を達成したのものとする。(表彰対象とはならないが、記録証は発行される。)
  - (5) 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会から推薦を受けた者。
  - (6) JSFP 登録者については、次のいずれかの競技会において、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している種目に 2 種目まで参加できる。なお、2018 年度 INAS・WPS 選手登録者は、標準記録に達している種目に 4 種目まで参加できる。
    - ・2017 年度 第 17 回全国障害者スポーツ大会(愛媛大会) 第 34 回日本身体障がい者水泳選手権大会  
2018 パラ水泳春季記録会 第 7 回 JSCA 全国知的障害者水泳競技大会  
第 20 回日本知的障害者選手権(25m)水泳競技大会  
第 1 回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会  
2017 年 9 月 4 日以降に開催された WPS 公認大会
    - ・2018 年度 第 29 回九州障がい者水泳選手権大会 第 25 回中部障がい者水泳選手権大会  
第 21 回日本知的障害者選手権水泳競技大会 WPS 公認大会
  - (7) JDSA 登録者については、次のいずれかの競技会において 1 種目以上、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している者
    - ・2017 年度 第 17 回全国障害者スポーツ大会(愛媛大会) 第 12 回日本ろう者水泳選手権大会  
2018 パラ水泳春季記録会
    - ・2018 年度 第 21 回日本知的障害者水泳選手権水泳競技大会 第 32 回関東身体障がい者水泳選手権大会  
第 29 回近畿身体障害者水泳選手権大会 第 28 回東北身体障害者選手権水泳競技大会  
第 24 回中国四国身体障害者水泳選手権大会 第 29 回九州障がい者水泳選手権大会  
第 25 回中部障がい者水泳選手権大会  
日本マスターズ水泳短水路(25m)大会(申込締切日以前の大会)  
その他の日本水泳連盟公認大会
- ※ JDSA 登録者について 50m バタフライ、50m 背泳ぎ、50m 平泳ぎは予選のみオープン種目として参加できる。出場者は他の種目で標準記録を突破している者に限る。(表彰対象とはならないが、記録証は発行される。)
- (8) (4)を除き、以下の条件で 1 人 4 種目以内、または、WPS、INAS 登録者は、7 種目以上出場できる。JPSF 登録者と JDSA 登録者は参加する 1 種目以上標準記録を突破している事に合わせ、追加で標準記録を突破していない競技に参加する場合はその標準記録相当のタイムで泳げる事。JSFP 登録者は全ての標準記録を突破している事。なお、傷病または不測の事態等の正当な理由なく棄権することは認められないので注意すること
  - (9) リレーは JPSF、JSFP、JDSA 及び海外チームからのエントリーのみ行います。参加申込はできません。

## 15 競技方法

午前の部(予選)はエントリータイム順で競技を行い、同種目同クラス 8 位以内の選手(同種目同クラスの予選出場者が 8 名以下の場合、各種目の参加標準記録を突破した選手のみ)は、クラス別レース(決勝)に出場できる。

## 16 競技規則

S1～S14 は WPS 競泳競技規則による。

その他の障害は FINA に準拠した公益財団法人日本水泳連盟競泳競技規則による。

17 申込方法 別添「申込書」、「誓約書」に必要事項を記載のうえ、参加料を添えて下記に申し込むこと。

(1) 申込み締切り期日 2018年7月27日(金)消印有効

(2) 申込み先 〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-15 成樹ビル302 有限会社アルスター内  
2018ジャパンパラ水泳大会 受付事務局 宛  
問い合わせ用メールアドレス: [jp\\_swimming@japanpara.com](mailto:jp_swimming@japanpara.com)

※ 参加料は必ず申込時に納入すること。また、一旦納入された参加料は、主催者の責による事由で大会を中止した場合以外、参加資格に満たない場合も含め、原則として返金しない。

※ 「申込書」「誓約書」など必要書類が提出されていない場合や必要事項に記載がない場合、また、出場資格・制限などに該当しない場合は、申込みを受け付けない。

※ 出場の可否については、参加資格確認後、随時書面により通知する。8月15日までに通知が届かない場合は事務局まで連絡すること。

18 参加料 一人一種目2,000円とする。(銀行振り込みにて、申込み時に納入すること)

※ 振込者名については選手本人名とし、多数の選手分を振込む場合等は、その旨を申込書に記載すること。

※ 申込書と共に振込みを確認できるもの(振込明細書・振込確認書等)のコピーを送付すること。

振込先口座:	みずほ銀行 小舟町支店(店番号105) 普通口座 1285022
口座名義:	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会ジャパラ
フリガナ:	ザイニホンショウガイシヤスポーツキョウカイジャパラグチ

19 クラス分け

(1) ステータス「L」の肢体不自由・視覚障がい選手はクラス分けを受けなければならない。その他、JPSFより連絡のある選手はクラス分けを受けなければならない。尚、時間調整は困難なので、クラス分け受検者は、必ず以下の時間を確保しておくこと。※時間の変更は原則認めない。

クラス分けの詳細については別途 JPSF より連絡する。

① 肢体不自由 9月21日(金)11時~18時(予定)

② 視覚障がい 別途連絡する

(2) 肢体不自由でクラス分けを受ける者は、100mのS種目1つと100mのSB種目(SB1~3は50m)を含めてエントリーしなければならない。\*S種目—自由形・背泳ぎ・バタフライ、SB種目—平泳ぎ

(3) 会場 肢体不自由:横浜国際プール 視覚障害:別途連絡する

20 ドーピング検査 (以下、JADAからの注意喚起文による)

- ・ 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ・ 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- ・ 大会期間中現在で未成年者(20歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
- ・ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規程違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規程違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ・ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること

21 表彰

(1) 男女別種目別に1位、2位及び3位の選手にメダルを授与する。ただし、決勝進出者が2名の種目は1位のみ、3名の種目は2位までにメダルを授与する。オープン種目及びリレー種目にはメダルは授与しない。

(2) 参加者全員(オープン種目を含む)に記録証を発行する。

22 競技日程(予定)

2018年9月21日(金) クラス分け(11時~、2レーン使用) 公式練習(13時~18時、8レーン使用)

2018年9月22日(土) 開始式 15時10分 競技開始 9時30分(午前中予選、午後15時30分~決勝)

2018年9月23日(日)~24日(月・振休) 競技開始 9時30分(午前中予選、午後15時30分~決勝)

各日18時30分終了予定

## 競技順序 (予定)

9月22日(土) 大会第1日目									
午前の部(予選)					午後の部(決勝)				
1	女子	200m	個人メドレー		9	女子	200m	個人メドレー	
2	男子	200m	個人メドレー		10	男子	200m	個人メドレー	
3	女子	150m	個人メドレー		11	女子	150m	個人メドレー	
4	男子	150m	個人メドレー		12	男子	150m	個人メドレー	
5	女子	50m	自由形	OP 含	13	女子	50m	自由形	
6	男子	50m	自由形	OP 含	14	男子	50m	自由形	
7	女子	100m	平泳ぎ		15	女子	100m	平泳ぎ	
8	男子	100m	平泳ぎ		16	男子	100m	平泳ぎ	
					17	女子	4×100m	34P メドレーリレー	S15 含
					18	男子	4×100m	34P メドレーリレー	S15 含
					19	混合	4×100m	S14 メドレーリレー	S15 含
9月23日(日) 大会第2日目									
午前の部(予選)					午後の部(決勝)				
20	女子	200m	自由形		28	女子	200m	自由形	
21	男子	200m	自由形		29	男子	200m	自由形	
22	女子	50m	背泳ぎ		30	女子	50m	背泳ぎ	
23	男子	50m	背泳ぎ		31	男子	50m	背泳ぎ	
24	女子	100m	背泳ぎ		32	女子	100m	背泳ぎ	
25	男子	100m	背泳ぎ		33	男子	100m	背泳ぎ	
26	女子	400m	自由形		34	女子	400m	自由形	
27	男子	400m	自由形		35	男子	400m	自由形	
					36	女子	4×50m	20P フリーリレー	
					37	男子	4×50m	20P フリーリレー	
					38	混合	4×50m	49P フリーリレー	
9月24日(月・振休) 大会第3日目									
午前の部(予選)					午後の部(決勝)				
39	女子	100m	自由形		47	女子	100m	自由形	
40	男子	100m	自由形		48	男子	100m	自由形	
41	女子	50m	平泳ぎ		49	女子	50m	平泳ぎ	
42	男子	50m	平泳ぎ		50	男子	50m	平泳ぎ	
43	女子	50m	バタフライ		51	女子	50m	バタフライ	
44	男子	50m	バタフライ		52	男子	50m	バタフライ	
45	女子	100m	バタフライ		53	女子	100m	バタフライ	
46	男子	100m	バタフライ		54	男子	100m	バタフライ	
					55	女子	4×100m	34P フリーリレー	S15 含
					56	男子	4×100m	34P フリーリレー	S15 含

### 23 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、主催者が定める「個人情報保護取扱規程」に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び水泳競技に必要な連絡等に利用する。

### 24 傷害保険への加入について

主催者において期間中(2018年9月21日～24日)の傷害保険に一括加入する(保険内容:死亡・後遺障害 1,000万円, 入院5,000円, 通院3,000円)。これ以上の補償を望む場合には、各自で別途保険に加入すること。大会では、応急処置しかできないので、参加に当たっては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全については十分留意すること。

## 25 競技に関する情報

- (1) 本大会はWPS(世界パラ水泳連盟)公認大会として実施する。スタート合図は「Take your marks」とする
- (2) WPSライセンス登録及び国際クラス分けが終了している選手の記録はWPS公認記録となる。
- (3) 本大会の水着に関する規程は、原則としてすべてFINA及びWPSの競技規則による。
- (4) プール内の室温は30度位、水温28度位、プールの水深は2mとする。
- (5) 競技会場の練習は次の通りとする。

9月21日(金)	メインプール	13時から18時
9月22日(土)~24日(月・振休)	メインプール	8時から競技開始時刻20分前までと 予選と決勝のセッション間(ただし、決勝進出者のみ)
	サブプール	8時から決勝終了後30分まで

※サブプールは常時利用できる。

- (6) 受付時間は次のとおりとする。

9月21日(金)	12:30~17:00	1階受付
9月22日(土)~24日(月・振休)	7:45~10:00	1階受付

※22日~24日の会場開館は、選手・関係者のみ7:45、一般・観客等は8:15となる。

- (7) 本大会の予選について、選手の名前やレーンは事前に大会ホームページに掲載および当日配布されるスタートリストに記載されている。決勝については予選終了後に選手の名前やレーンなどを、1階総合受付とプール入り口に掲示する。(予定)  
競技は原則として、女子・男子の順にクラス番号順に行う。
- (8) 招集は、競技予定時刻の20分前に行う。棄権は原則医学的理由以外に認められない。予選を棄権する場合は、招集時間の1時間前までに、決勝を棄権する場合は、予選終了後1時間以内に、それぞれ招集所に届けること。また、他の種目出場等の理由により、招集時間に間に合わない場合も必ず届出ること。
- (9) 手話通訳者は、招集と表彰場所に配置する。
- (10) 本大会の記録、氏名、付与されたクラス、特記事項などは協会及び連盟ホームページなどに掲載する。
- (11) リレーはJPSF、JSFP、JDSA及び海外チームからのエントリーを受け付ける。

## 26 その他

- (1) 本大会の成績は今後の国際大会日本代表選手の参考資料とする。
- (2) 会場の駐車場は台数に限りがあります。(約270台)  
利用時間: 平日9:30~22:30、土日祝日7:30~21:00  
料金: 普通車2時間以内300円(1時間超過ごとに150円加算)
- (3) 宿泊については、主催者(日本障がい者スポーツ協会)より斡旋する。希望者は別紙「宿泊案内」を参照のうえ、「宿泊申込書」に必要事項を記載し、期日までに申し込むこと。
- (4) 問い合わせは下記とするがメールまたはFAXによること。FAXの宛名は「2018JP水泳大会」とすること。

- ① 競技関係 (各自登録している団体へ問い合わせること)

(一社) 日本身体障がい者水泳連盟    Mail ikai@zephyr.dti.ne.jp (担当: 猪飼)  
FAX 078-855-6621 (担当: 猪飼)

※(一社) 日本身体障がい者水泳連盟からの注意事項を連盟ホームページでよく確認すること

(一社) 日本知的障害者水泳連盟    FAX 03-3615-5584 (担当: 及川)

※(一社) 日本知的障害者水泳連盟からの注意事項を連盟ホームページでよく確認すること

(一社) 日本ろう者水泳協会    Mail [pacific\\_dolphin@shizuoka.tnc.ne.jp](mailto:pacific_dolphin@shizuoka.tnc.ne.jp) (担当: 鈴木)

FAX 054-663-2388 (NPO 法人 パシフィック・ドルフィン内 担当: 鈴木)

※(一社) 日本ろう者水泳協会からの注意事項を連盟ホームページでよく確認すること

- ② 宿泊関係 JTBコーポレートセールス法人営業    Mail t\_kageyama036@bwt.jtb.jp (担当: 影山)

FAX 03-5909-8100 (担当: 影山)

- ③ その他 日本障がい者スポーツ協会    Mail inohana@jsad.or.jp (担当: 猪鼻)

FAX 03-5641-1213 (担当: 猪鼻・赤星)